

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-139	A-154	16-113
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門		
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Association Between Alcohol Sports Sponsorship and Consumption: A Systematic Review. アルコール企業のスポーツ支援とアルコール摂取量との関連: システマティックレビュー		
<b>執筆者</b>		
Brown K		
<b>掲載誌</b>		
Alcohol and Alcoholism, 2016, 51(6) 747-755 doi: 10.1093/alcalc/agw006		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
アルコール企業、スポーツ支援、アルコール摂取量		26911984
<b>要 旨</b>		
<b>目的：</b> 国によってはアルコール企業のスポーツイベントへの支援を禁止しており、アルコール企業の支援が有害なアルコール摂取と関連するかどうかについて注目されている。本研究では、アルコール企業のスポーツ支援とアルコール摂取との関連について、これまでの報告の系統的レビューを行った。		
<b>方法：</b> アルコール企業のスポーツ支援とアルコール消費量との関連について検討された研究をPubMed, Cochrane Library, Google Scholar and International Alcohol Information Databaseを用いて検索し結果をまとめた。		
<b>結果：</b> 最終的にオーストラリア・ニュージーランド・イギリス・ドイツ・イタリア・オランダ・ポーランドからの計7研究 (n=12,760)を対象とした。全ての研究においてアルコール企業のスポーツ支援とアルコール摂取量は正の関連が報告されていた。7研究のうち2研究では、アルコール企業のスポーツ支援が間接的に学童におけるアルコール摂取量増加と関連することが示されていた。また、5研究では、アルコール企業のスポーツ支援は直接的に成人における有害なアルコール摂取と関連することが示されていた。		
<b>結論：</b> アルコール企業のスポーツ支援とアルコール消費量との正の関連については、システマティックレビューですでに報告されており、本研究は過去の報告を支持するものであった。アルコール企業のスポーツ支援が学童期でのアルコール摂取量増加と関連することは非常に重要な結果であり、有害アルコール摂取を減少させるためのアルコール企業の支援制限の有効性についてさらなる研究が必要である。		